

# 令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年 3月

学校法人郷原学園 西原幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・「こころ」思いやりのある子ども（思いやり）
- ・「笑顔」自ら挨拶のできる子ども（挨拶）
- ・「楽しむ」自らあそびを楽しむ子ども（主体性）
- ・「しあわせ」自分のことは自分でできる子ども（自律）

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、鹿児島県教師研究大会が大隅で行われたため、「公開保育」にも皆で取り組んだ一年でした。また、他園に見学・研修に行かせてもらうことで自園の良さも皆で考えていくいい機会となりました。そして、初めての取り組み「せんだんのきの日曜日」（日曜参観）も、さまざまな分野で活躍される方にも幼稚園に来ていただき、子どもたちが本物に触れ合える機会を設けた。

- ・「公開保育」なども自分たちが学べるいい機会と捉え、皆でテーマを持って取り組む
- ・園行事の在り方を見直し「子どもたちの成長をまんなか」に置き、時間や人数などを工夫して、スムーズに参加、参観できるようにする
- ・園内研修、園外研修の充実を図り、今まで大切にしてきた保育感や保育者の専門性を深められるよう工夫する

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

|   | 評価項目      | 評価 | 取り組み状況                                                                                                              |
|---|-----------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 教育目標      | A  | 園の目標について、全ての職員が共感・理解できるよう、ホームページ作成などを通して、浸透するようにしている。                                                               |
| 2 | 保育計画      | A  | 子どもたちのやる気を引き出すためにはまずは保育者自身がやる気を持って取り組めることが大切だと考え、保育計画を立案できるように配慮している。                                               |
| 3 | 保育環境      | B  | 令和6年度は、未満児さんの園舎が新設され、皆で使い方を工夫しながら過ごしている。収納などに課題あり。                                                                  |
| 4 | 安全・防災     | A  | 未満児さん園舎が新設されたことで出てくる課題を皆で考え、月に1度の避難訓練を、みんなで、充実したものになるよう目指した。                                                        |
| 5 | チーム保育・同僚性 | A  | 年齢・経験年数が異なる幅広い保育者集団の中で、それぞれが尊敬の念を持ちながら接することを大切にしていきたい。正規職員もパートタイム勤務の職員も連携を図り、一つの保育に取り組めるようなチームを目指している。              |
| 6 | 保育内容・方法   | A  | 園外研修などを取り入れ、客観的にその年齢の子どもたちの育ちを捉え、他園を見ることで気づける自園の良さに気づけたように思う。園内研修後は、振り返りのための会議を開き、お互いの保育感を聴き、思いや考えを一緒に深められるようにしている。 |
| 7 | 保護者との関わり  | A  | 連絡帳をアプリに移行することによって、写真などで日々の様子を伝え、可視化することを目指している。ドキュメンテーションも積極的に取り入れ、保育をより伝えられるように工夫した                               |
| 8 | 職務の遂行     | A  | 職員全員で集まることは難しかったが、正規職員もパートタイム勤務の職員それぞれの会議を開いた。その際に、相互の連携も大切にし、それぞれのクラスの変化に気づくこともできた。                                |

|    |        |   |                                                                                               |
|----|--------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9  | 専門性の向上 | B | チャレンジ保育研修の機会を多く設け、互いに知識を高めていく。互いの保育をみたり、発言したりすることで個々の専門性を高めていく。業務が多くなっていないか、振り返る時間をとるようにしている。 |
| 10 | 食育     | A | 給食の先生も力を貸してくれて、今までは取り組めなかったような活動も積極的に取り入れることができた。                                             |
| 11 | 子育て支援  | A | 月に一度の「未就園児教室」では、親子で触れ合う大切な時間を共に育んできた。2歳児は幼稚園への緩やかな移行を目指し、1歳児は母親支援を大切にしてきた。全職員で関わる時間も作ることができた。 |
| 12 | 預かり保育  | B | 利用する子どもたちが増えて来たことで、どのような保育をしていけばいいか、皆で考える時間も増えている。雨の日など保育の工夫を皆で模索しながらの1年であった。                 |

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 4. 総合的な評価結果

| 評価 | 理 由                                                                                                               |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A  | 皆でテーマを決めそれぞれが「やりたい保育」に積極的に挑戦した1年であった。全体で話し合う前に、主任や学年主任などが集まり、内容を深めて行くことで、思いやねらいが浸透しやすく、一つひとつの行事に、皆で達成感を味わえたように思う。 |

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 5. 今後取り組む課題

|   | 課 題    | 具体的な取り組み方法                                                                |
|---|--------|---------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 行事について | 今まで通りの概念から少し離れて、新しい取り組みにも皆で向かっていける                                        |
| 2 | 清掃について | 清掃も皆で取り組み、安全点検なども合わせてしていくようにする。                                           |
| 3 | 研修について | 他園の保育を参観したり、同じ悩みや思いをもつ保育者と話し合ったりする時間を作ることで、自園の良さを知り、皆で、保育をアップデートできるようにする。 |

#### 6. 学校関係者評価委員会の評価

コロナは落ち着いたものの、まだまだ不安定な世の中ですが、情勢に応じた保育を工夫して下さり感謝しています。行事等も従来通りの内容だけではなく、新しくより良い取り組みをと 今年「せんだんのきの日曜日」を実施して下さいました。

保護者に対しても「連絡アプリ」では事細かに園での様子を連絡して下さい、我が子を安心して預けることのできる園でした。

親への連絡、行事の準備、各イベントでは園児1人1人への手作りプレゼントなど繁雑多岐に渡る業務をこなしながらも園児に対してだけでなく保護者にもいつも笑顔で接して下さい先生方には感謝しかありません。

ありがとうございました。

PTA副会長

大富 亜季

